

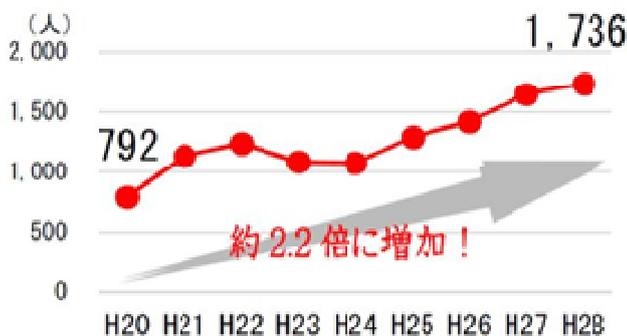
冬休みを迎える子供たちと共に考えたいこと

インターネットやアプリは、安全に正しく使うことができればとても役立つ便利なものです。しかし、事件に巻き込まれるきっかけになったり、いじめのきっかけになったりしているのも事実です。冬休みは、新たなゲーム機等の電子機器を手に入れる機会が多く、その使い方について再度問い直す必要もある時期です。本紙を活用して、学校や学級で、また保護者の皆様と考えるきっかけにいただければと思います。

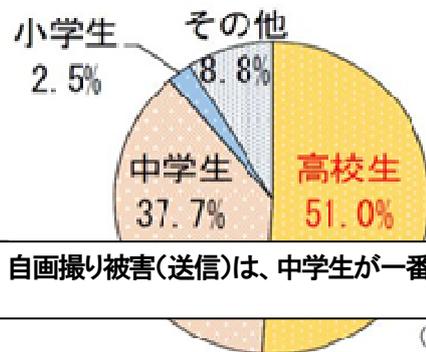
～インターネットの現状と傾向から～

SNSなどのコミュニティサイトを通じた犯罪被害は、過去最多

コミュニティサイトで被害にあった子供の数 ※



コミュニティサイトで被害にあった子供の内訳 ※



自撮り被害(送信)は、中学生が一番の被害者に

(平成28年)

※【出典】警察庁・文部科学省「夏休みを迎える君たちへ～ネットには危険もいっぱい～」(平成29年6月27日公表)

SNSとの向き合い方について話し合ってみましょう

ネットの向こう側の人を見きわめるのは大人でも簡単ではありません。犯罪に巻き込まれるケースも。

ゲームやSNSのIDやパスワードを他人に教え、被害にあうケースも。親しい友人にも教えないで。



SNSに写真や個人情報を掲載することで個人が特定され、付きまといにあうケースも。

無料アプリのボタン書き込み例
名前→〇〇〇〇
学校→△△△△
次の人→□□

グループトークでは、ちょっとしたことで誤解や感情の違いが生じ、一瞬にして信頼を失うケースも。

リアルでもネットでも、やってはいけない行為は一緒。単なる書き込みと以为っていても、誹謗中傷等が、時には、法に触れてしまうことも。

【学校や家庭で読んで話し合ってみませんか？】

総務省「インターネットトラブル事例集」には、トラブルの事例やその対応について掲載されています。学校や家庭で事例をもとに、話し合ってみませんか？
(http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/jireishu.ht)

